

静岡県板 ニュース

発行所 静岡県板金工業組合

〒420-0034 静岡市葵区常磐町2丁目12番4号
(タウンコート常磐町 1F)

TEL.054-252-2418

FAX.054-252-2430

発行人 林 紀明

第五十二回通常総代会の開催

平成二十八年度の第五十二回通常総代会は、五月二十六日静岡市内のクーパーホール会館において開催された。総代会には、代議員、役員、支部長、青年部員並びに来賓、八十名の出席のもと、十三時に金原副理事長の開会の辞に始まり、熱心かつ真剣な審議がなされた。会議の冒頭、林理事長は挨拶に立ち、我が国の景気は、このところ一部弱さがみられるものの緩やかな回復基調が続いており、先行きについては、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって緩やかな回復に向かうことが期待されていると説明したうえで、建築板金業界は、長期金利の低減など有利な要因は有るものの消費税の更なる増税実施に伴う前倒し発注への不安や引き続き受注機会の減少や資材価格の高騰、実施施工単価の低落傾向等により経営環境は依然として厳しい状況にあるが、組織を見直し、新たな地域の組合員の掘り起しや長年に亘り培われた組合員相互の連携、協調、団結を一層強固なものとして、この時勢に対処していく必

要があると感じていると感想を述べ、今後は、業界の動きや社会情勢の変化にさらに敏感になり、その変化に対応できる技術、技能の習得に努め、更には、仕事を取るための積極的な営業活動や経営の在り方の再検討を行うなど、今までとは違う意識で行動することが求められるとの見解を述べた。また、解決すべき喫緊の課題として、後継者の育成確保の問題があること、今後の組合や、この業界を担っていく青年部に対して、親組合として従来に増して連携、支援を強化していく必要があることなどを出席者に訴えた。最後に、四年後の平成32年に建築板金業者全国大会がこの静岡市で開催される運びとなった旨を会場で披露し、この全国大会の開催に向け組合員一丸となって取り組んでいくとの決意表明があった。続いて、議事の審議に入り議長に、稲葉榮次郎氏（伊豆支部）、依田勇一氏（富士支部）が選任された。提案された第一号議案

（二十七年事業報告）については、松浦副理事長が説明され、続いて第二号議案（二十七年会計決算関係）は、鈴木主任会計、伏見会計理事、佐藤会計理事から説明がされ、また、中山監事から監査報告がなされ承認された。

次に第三号議案（二十八年度事業計画案）については、林理事長が説明し、第四号議案（二十八年度予算案）については、鈴木主任会計が説明して承認された。次に第五号議案（借入金最高限度額及び取引金融機関の決定）を林理事長が説明し、承認された。

議事終了後、来賓からご祝辞を頂いた。最初に、衆議院議員塩谷立様のメッセージを、続いて中小企業団体中央会様から、最後に協力店会を代表して榎植松様からご祝辞を頂いた。

この後、懇親会が開催され来賓の協力店等の皆さんを交え、昨今の経済情勢や業界情報が熱心に語られていた。

第五十二回通常総代会挨拶

理事長 林 紀明

本日、ここに第五十二回通常総代会を開催いたしましたところ、総代を

始め、各役員、青年部等多くの組合員のご出席をいただき盛大に開催できましたことを感謝いたします。



また、ご多忙のところご臨席を賜りました、ご来賓の皆様方には心からお礼を申し上げます。

さて、我が国の景気はこのところ一部弱さがみられるが、緩やかな回復基調が続いており、先行きについては、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって緩やかな回復に向かうことが期待されています。

ただし、海外経済で弱さがみられており、中国をはじめとするアジア新興国や資源国などの景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクが有り、また、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。

こうした中、わが建築板金業界は、長期金利の

低減など有利な要因はあるものの消費税の更なる増税実施に伴う前倒し発注への不安や引き続き受注機会の減少、資材価格の高騰実施施工単価の低落傾向等により、経営環境は依然として厳しい状況にあるが、このような時こそ長年に亘って培われた組合員相互の連携、協調、団結精神を一層強固なものとして、その時々々の経済情勢に対処してゆく必要があると痛感いたします。

そのためには、習得している技能の更なる研鑽に努め、更には、仕事を取するための積極的な営業活動や経営の在り方の再検討を行うなど、今までとは違う意識で行動することが求められると思います。

また、我々の喫緊の課題として、後継者の育成確保の問題があります。今後の組合組織や、この業界を担っていく青年層に対して、今まで以上に親組合としての連携、支援を強化していく必要があると思いますので、各位におかれてましても、従来に増して青年部活動への理解、協力及び指導を宜しくお願い申し上げます。

さて、ここで、皆様にご披露したいと思

います。平成二十八年度の第二号の建築板金業者全国大会がこの静岡市で開催される運びとなりました。組合といたしましては、この全国大会の開催に向け組合員一丸となって取り組んでまいりたいと思っておりますので、皆様方には格別のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びに当たりまして、現在、我々業界を取り巻く社会経済環境は一段と厳しい状況にありますことから、引き続き、組合員が相互に励ましあい、組織力を結集してこの苦難の時期を乗り越えなければなりませんので、ご臨席のご来賓の皆様には、これまでに増してのご理解とご支援をお願い申し上げます。本日は、誠にありがとうございました。



トタン板・カラー鉄板・ナショナル雨とい
三晃式長尺瓦棒・三晃式折版構造

株式会社 釜慶商店

浜松市東区北島町760番地
電話 053-423-0007代 FAX.053-423-0010

表彰状等の授与

通常総代会において、静岡県板金工業組合の事業活動に多年にわたって熱心に取組まれ、組合発展に尽力された八名の皆さんに、林理事長から表彰状と記念品が授与された。

受賞者を代表して御殿場支部田代政弘氏が謝辞を述べた。



県板功労表彰

- 御殿場支部 田代 政弘
- 同 柳原 一利
- 富士支部 野村 靖広
- 清水支部 伊藤 功
- 同 高橋 利男
- 同 鈴木 和好
- 小笠支部 小林 正裕
- 中遠支部 柴田 洋幸

(敬称略)



県板団体保険感謝状

多年にわたり団体保険に加入いただき、組合の共済事業への協力に感謝し、次の二名の皆さんに林理事長から感謝状と記念品が授与された。

御殿場支部 佐藤 幸子
同 湯川 政治

(敬称略)

全板連京都大会 八十二名参加

県板事務局



第六十八回全国建築板金業者大会が、五月十九日(木)京都府の「京都パルスプラザ」で開催され、全国から約三千五百名余の同業者が参加し、本県からは事務局長を含め八十三名が参加した。

大会では、「半世紀の歴史を礎に、輝く未来を切り開く!」を総合テーマに、目標として「登録基幹技能者の更なる地位向上と正当な評価を獲得

しよう」、「非組合員の加入促進と社会保険加入促進を図ろう」、「責任施工保証制度で業界の信用を確固たるものにしよう」、「指定商品は全ての組合員が積極的に活用しよう」、「業界の国保・年金基金で福利厚生を充実させよう」、「次世代の更なる飛躍のために後継者の育成強化を図ろう」などが大会宣言として、力強く宣言された。

また、大会の表彰式では、本県から伊豆支部の横山文明氏と浜松支部の金田克比呂氏が功労章を受賞された。

全板連京都大会参加報告

厚生労務委員 野村和稔

厚生労務委員に携わる委員は年が明け、正月の気分も明けやらぬうちから、五月に開催される全板京都大会に向けて静岡県板の意向を練らなくてはならない。

委員長として初めに頭に過ぎるのは、如何に多くの会員の方ができるだけ低価格で参加できるか、大会が成功裏に終わるか、本県から帰宅できることである。

国際観光都市での開催とあって、思い出に残る行事にしたいと考える。交通手段として旅行社の選定に懸り、JR東海ツアーズ、静鉄観光サー

ビス、日本旅行の三社に見積りの依頼を行う。

条件は一泊二日・二泊三日・新幹線利用・観光バス利用で検討をお願いした。

この間、委員会並びに各支部の意向をアンケートとして、最終的に常任理事会に諮り、厚生労務委員会の意見も加味して決定された。

この作業が中々、問題も多く大変なエネルギーを要するので有る。

結果はあらゆる条件を満たしたJR東海ツアーズが、新幹線利用組と榛南地区会員の観光バス利用組が旅行初日、指定時間内に京都駅八条口に集結して、新幹線組は地元観光バスに乗り込み、一日目の観光に向かった。

修学旅行の定番清水寺である。

駐車場から清水坂を土産物店を横目に仁王門まで一気に向かう。

観光予定時間まで各々境内を散策、新緑のもみじの木漏れ日を浴び爽やかな風を肌で感じ心行くまで楽しんだ。バスは、堀川通りを北上して昼食は「おばんざい」である。三々五々「おばんざい」をトレーに盛り沢山取り、食事を楽しんだ。

午後は酒の神様を御祀りする「松尾大社」に向かう。

「亀の井」の井戸より溢れる御神水は酒造りに適した水で、全国の醸造家が持ち帰り仕込み酒に入れると伺っている。

大社造りの華麗な建物に目を奪われ、奉納された菰かぶりの樽の前で記念写真を撮る組合員も多かった。

最終目的地は嵯峨野・嵐山である。渡月橋を渡り対岸まで足を運ぶ人、天竜寺の広大な境内を散策、真夏を思い起こす暑さで日陰を歩く姿が目立った。嵯峨野の竹林は小道を抜ける風が気持ちよく、旅に出た実感を味わった。観光時間も終わりのバスは「ベッセルホテル京都五条」に向かい、旅の荷を解き、再びバスの人となり、河原町二条に下る。「がんこ高瀬川二条苑」での宴会である。

高瀬川を邸内に取り入れた瀟洒な料亭で有るが、参加者八十三名の宴席にコンパニオンが入ると手狭で行き来するのも大変であった事は、反省の材料である。

委員の北村氏を中心にビンゴゲームで楽しみ、二時間の宴会は夢の内に幕を締めた。

後は自由行動で祇園新地に繰り出す人達、木屋町界隈で過ごす人達、先斗町に足を延ばす人達、思い思いに夜の京都を満喫したことであろう。

日は変わり早めの朝食を摂り、バスで目的地、全板大会会場に到着、眼を瞠つたのは、高原の大夫妻一弦を奏で舞を披露した事である。

趣向を凝らした京都ならではの「おもてなし」であった。

大会では、静岡県板より横山文明氏と金田克比呂氏の二名が全板連理事長より栄えある功労賞を授与された。

めでたい限りである。大会も終了宣言が読まれ閉会となった。機械・道具の展示を見学する組合員、会場内で繰り広げられていた祇園東の芸妓衆・かわいい舞妓さんの鳴りもの演奏や舞を堪能した。

彼女等と写真撮影ができたこともラッキーであった。

帰りは、伏見の酒倉・「月桂冠の大蔵酒造」見学と試飲を楽しむ土産を買い求める仲間も大勢いた。

最後の見学は「伏見稲荷社」である。相変わらず日差しは強い。

朱塗りの神殿に商売繁盛の祈願をして、観光は終わりとなった。

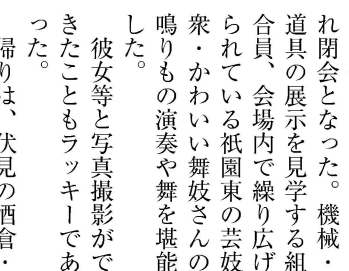
人それぞれ記念になった一泊二日の束の間の旅で満足を感じたかは、それぞれであろう。

陽が西に傾き、往路と同じように新幹線組とバス組に分かれ故郷・家路に向かった。

この旅を振り返って、大勢の会員の皆様が事故も無く予定通り実施できたことに委員長として感謝申し上げる次第であります。来年は茨城県で大勢の皆さんと再会できることを楽しみにし、感じたいことを記しました。

全板連京都大会に参加して

伊豆支部 横山文明



この度、第六十八回全国建築板金業者京都大会において功労表彰をいただきました。

県板には、私と私の父も永年にわたり大変お世話になり、このような表彰を頂いたことは身に余る光栄と感謝申し上げます。

組合の諸先輩方にご指導頂きながら各種の資格を取得することができましたこと心から感謝申し上げます。

上げます。
また、組合の役員をさ
せて頂いたおかげで他支
部の組合員の多くの方々
と知り合い、多くのこと
について勉強させて頂い
ております。

私も二人の息子が板金
業を継いでくれましたが
今後は、住宅環境も大変
厳しい時代となって来る
ことと思われま。

私どもが取得した技術
を後世に伝えて行くこと
は、お世話になっていま
板金業界に大きな役割を
果たすことだと考えてお
ります。

この度の受章を機にお
世話になって板金組
合及び板金業界の発展の
為に微力ではありますが、
尽力をいたす所存で有り
ます。

皆様ありがとうございます
ました。

技能検定実技試験講習会

県板事務局



二十八年度技能検定実
技試験に向けて、実技講

習会が、六月四日(土)、
六月五日(日)、の二日間
ポリテクセンター静岡で
開催された。

今年度の受講者は、一
級二十三名、二級五名の
計二十八名で、昨年より
二名増加した。

指導に当たった十一名
の技術検定委員及び補佐
員からは、受講者の真面
目な態度、熱心さを評価
する声が多く、緊張感溢
れる講習会となった。

松浦委員長からも、時
間内に全員仕上げまで行
かなかつたので、実技試
験日までに追加講習会が
必要との講評があり、今
後、東・中・西の各地区
で追加講習会を行う必要
性が確認された。

これを受けて、各地区
委員は六月下旬から七月
月上旬にかけて臨時の実技
講習会を開催した。

技術検定委員長は、七
月二十六日の実技試験本
番には、全員が努力の成
果を遺憾なく発揮して、
良い結果が得られること
を期待するとコメントし
た。

なお、職能協が主催す
る技能検定実技試験は、
予定通り七月二十六日(火)
に実施され二十八名が受
験した。

今後は、八月二十三日
(火)、二十四日(水)に静
岡労働会館において学科
講習会を開催する予定で

ある。

技能競技大会の開催

技術検定委員長 松浦 源



今年度の技能競技大会
は、十月二日(日)にポリ
テクセンター静岡で開催
される。

課題作品については、
Aコースは「ちりとり」
で昨年と同じだが、B
コースは、「アンテュー
ク風如雨露」から来年の
全国大会の課題とされる
「アラジンランプ」に変
更されることとなった。

競技大会参加者を対象
にした事前講習会は、九
月四日(日)ポリテクセン
ター静岡で実施される。

入賞者は県知事等から
表彰され、またBコース
優秀者二名は、二十九年
二月下旬に富士宮市で開
催される全国大会へ出場
することとなる。

技術検定委員会では現
在、八月中旬を期限とし
て参加者を募集している
が、参加者の年齢制限は
廃止されているので組合

員、後継者及び従業員等
多数が参加し技能を競う
ことが業界全体のレベル
アップに繋がると期待し
ている。

今年のBコースのテー
マである「アラジンラン
プ」は昨年の「如雨露」
同様展開図等詳細図面は
難しく、技術検定委員長
が主体となって、検討を
重ねている。

**小・中学生の「ものづくり」
体験学習指導**

県板事務局



静岡県職業能力開発協
会は、厚生労働省認定の
「ものづくりマイスター」
派遣事業として、県下東
部・中部地区の小・中学
校生等の児童生徒に対す
るものづくり体験学習(魅
力講座含む)を実施し
ています。

今年度は、十三箇所と
なっており、昨年よりも
なっております。

体験学習を実施する全
箇所では先生方に「ものづ
くり作業」を説明するた

めの「魅力講座」を加え
ると、今年度は、二十六
箇所で開催し体験学習を
実施することとなります。

この事業は、各技能士
会に所属するものづくり
マイスターに対して、依
頼されるもので、各技能
士会では、マイスターの
皆さんにお願いし、限ら
れた人員の中、本業と、
この派遣事業を大変な努
力と犠牲を払って実施し
ているのが実情です。

この他にも、県のものづ
くりフェスタや各訓練校
の技能祭、各地区のもの
づくりフェスタへの参加
等めまぐるしく出展、指
導の機会が連続的に展開
されていきます。

元より美しい輝きを放
つ銅板細工は人気があり、
児童・生徒からの要望も
多く寄せられているよう
です。

しかし、現員のマイス
ター二十名では、今後、
西部地区及び伊豆地区に
まで拡大していくと見込
まれる体験学習の実情に
対応するのは難しく、今
年度、実施箇所を多くを
占める中部地区を中心
に、お数名のマイスターを
新たに認定登録すること
によって、各マイスター
の負担を軽減し対応しよ
うとしています。

職能協では、今年度か
ら、ものづくりマイスタ
ーの派遣事業が本格化し

ており、来年度は予想通
り全県規模で事業展開を
図っていく計画が有るよ
うです。

マイスターの方以外の
各支部の皆さんにも補助
指導員としてのご参加を
お願いする機会が有るか
と思いますので、その節
はご協力のほどよろしく
お願い申し上げます。

青年部事業報告

青年部長 萩原拓也

平成二十八年三月十九
日(土) 静岡駅周辺の「若
者の酒場プロンクステア
ア」において青年部主催
の懇親会を開催いたしま
した。

今回は、静岡全板大会
を控えて、青年部も意識を
高めて、組織として今一
度しっかりしたものを再
構築したいという思いで
今年度中に一致団結した
いと懇親会を開催しまし
た。

小笠、榛南、清水、富士
富士宮及び御殿場(OB)
から合わせて三十一名の
参加者と、親組合、事務
局にも直接現場の空気や
意見なども知っていただ
きたく、また感じていた
だきたく、との思いで、
出席依頼をし、林理事長、
青年部担当理事の野村副
理事長、開催場所の中部

松浦副理事長、事務局に
もご出席いただきました。
また、懇親会の開催に
当たり、情報提供などを
頂いた小池弥太郎商店か
らも二名の参加をいただ
きました。

会は、坂本副部長の進
行にて、乾杯の後、皆で
酒を酌み交わしながら組
合の未来や現状、改善点、
仕事の話、家族や仲間の
話など皆真剣に楽しく羽
目も外し、多くの意見交
換、情報交換が有り、と
ても有意義な懇親会とな
りました。

理事長から挨拶を頂き、
全板静岡大会へ向けて青
年部にも協力をお願いし
たいとの話もありました。
最後に私から全板静岡
大会をきっかけにもっと
活動を活発にしたいので
今後よろしくお願いま
したいの思いと、それぞ
れの負担もあるが、チャ
ンスもあるとの意見を述
べさせていただきました。

結びに、組合員同士の
より広い地域の交流によ
り多くの情報交換で得る
知識や情報で、より良い
ものを顧客に提供できる
こと。また、忙しい時
には現場など助け合える環
境ができていくメリット
も有る。などのお話をさ
せて頂き懇親会を終了し
ました。

参加いただいた皆様、
ありがとうございました。

厚生労務委員会を開催

厚生労務委員会が、6月24日(金)に静岡労政会館で開催され、林理事長、野村委員長を始め18名の委員が出席し、現場安全パトロールの実施他労働災害防止対策等について現場等からの視点で重点項目について熱心な討議が行われた。

1. 現場安全パトロールの実施

建設業労働安全防止協会事業の現場安全パトロールについては、昨年に引き続き東西の各4地区で実施することとし、実施時期は例年通り10月を予定したいとされた。

パトロール実施効果を考えると、県板金のみのパトロールでは、指導効果に疑問があるため、昨年の東部地区同様パトロール実施区域を所管する労基署等との合同パトロールとしたらどうかとの意見が出された。

後日、事務局において県災防に確認した結果、合同パトロールについての労基署等との調整は実施各支部で直接調整願いたいとの見解が改めて示された。

2. 労働災害防止対策

北村部会長から建設業における墜落・転落災害防止対策については労働局から要請があり、死亡事故については建築工事現場等での墜落・転落災害が最も多い点、安全帯を付けていないケースを多く見かけるが、仕事がやりにくくても、ヘルメットと安全帯は必ず着用し、自分の身は自分で守るよう心掛けることなど足場からの墜落防止に関するリーフレットに基づく説明があり、労働安全基準局の指導も大変厳しくなっているため足場作業に従事する者は規則改正に伴う特別教育3時間講習を必ず受講するよう指導があった。

3. 熱中症の予防

中村部会長から昨年は多くの熱中症が発症しており、7月から8月の高温多湿な時期が長く続くこと、猛暑日も多いことが予想されることから、個人差があるとは言え、屋外作業に従事する組合員にとって、万全の予防措置が必要であり、作業の前後・作業中の水分・塩分の摂取、こまめな休息、涼しい休憩場所の確保、通気性の良い服装・帽子の着用などが求められるなどについて口頭で様々な注意喚起がなされ、その他、起床後にコップ一杯の常温の水を飲むことや、睡眠不足にならないこと等の実例が紹介された。

4. 全板連全国大会

京都大会について、83名の参加者の状況、経費の精算について事務局から報告があり委員の了承を得た。また、次年度開催される予定の第69回茨城大会への参加予定日程及び旅行手段等について7月に各支部の希望をとり、厚生労務委員会において意見集約の上8月中旬に旅行業者3社からJR使用、バス使用双方について1泊2日及び2泊3日の見積書を取ることにした



清水支部 「盆総会」を開催
平成二十八年七月十五日(金)清水サンルートホテルにて来賓者を含め総勢六十名参加の下、静岡県板金工業組合清水支部の盆総会を開催いたしました。

清水支部では若い人の加入が増えており、この新規加入という明るい流れの相乗効果によって支部組織全体が良い方向に進むよう、また、組合脱退者が出ないよう役員と青年部に更なる協力をお願いいたしました。来賓には元環境大臣の望月義男衆議院議員をはじめ、地元の県議会議員、市会議員、各問屋、各メーカ1等、参加していた

だいた皆様方には、それぞれ近況報告などを含めご挨拶を頂きました。宴会では、カラオケも用意され幅広い年代の歌が響き、楽しい時間を過ごすことができました。最後に林副支部長から「総会への参加のお礼と、今後の更なるご協力をお願いし」三本締めで組合員の健康と商売繁盛を祈念し盆総会を締めさせていただきました。

鉄板用ビスの御用は
ドリルビス・コースレッド・ALCドライブ・ルーフボルト・各種
お客様のニーズにお応えします

株式会社 静岡ねじ

静岡市駿河区中吉田13番6号
電話 054-263-8756 FAX 054-263-8783

長尺板金成型加工・屋根・壁
各種建築資材販売・建築板金機械工具
電動工具・エアークラスター販売
住まい造りのおてつだい

萩原スチール株式会社

お気軽にお問合せ下さい

本社 焼津市焼津1-5-6(焼津郵便局前)
TEL 054-627-0138
板金加工センター(アステラス製薬南側)
TEL 054-629-4700

定尺横書き 新商品のお知らせ! HOT NEWS
UMIL-7 1(OE) 7月 既完品

- 1枚で1㎡(3,638mm)の省施工
- 荷上げから施工完了まで、1人でOK
- 0.35mmで業界最大 275mmの開口幅
- 高意匠、高機能鋼板を採用

株式会社 植松
沼津市西沢田 200-1 TEL 055-922-1555

欲しい物がここにある
鉄鋼二次製品/銅・アルミ・ステンレス/化学製品
機械工具/住宅設備機器/エンジン発電機・溶接機
さまざまなニーズにお応えします

西川鋼販株式会社

本社/〒437-1302 掛川市大淵9617
TEL 0537-48-3828(代)
FAX 0537-48-2644
ホームページアドレス http://www.nishikawakouhan.com/

嵌合瓦棒 H40-I型
～優雅な新しい丸嵌合式屋根～
キャップ部が本体と一体になったことで、
施工の工期短縮、経済性にすぐれた効果を発揮します。

株式会社 小池弥太郎商店
本社・本社工場/〒420-0922 静岡市葵区流通センター16番
TEL(054)263-2280代 FAX(054)263-6163
藤枝支店/〒426-0041 藤枝市藤柳2149-1
TEL(054)636-4040代 FAX(054)636-2911
牧之原工場/〒421-0412 牧之原市坂部110-7
TEL(0548)25-3975代 FAX(0548)25-3977
東京事務所/〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町28
エグゼル神田 5B
TEL(03)5297-4840 FAX(03)5297-4845
E-mail: info@koike-s.jp http://www.koike-s.jp

KMEW
モダンな外観に映える、
スパンドレル調デザイン。
スマートスパン柄
シャープなラインが魅力のスマートスパン柄が、新登場。
フッ素樹脂塗装で施工時の美しさが長持ちします。

株式会社 静岡営業所 〒420-0803 静岡市葵区千代田7-10-30 TEL.054-261-0338

新製品 横貫構法金属屋根材
エバーライン®横貫 段葺182 PVロック® 見積積算ソフト
対応色 淀川製鋼所 藤・ハリアアカラー-GL・ハイブリットカラー-GL
JFEスチール 高耐食フェライト系ステンレス鋼板

屋根・外壁見積積算ソフト
ソーラーパネル取付金具 **板金王® 瓦見® 外壁王®**
PVロック® レンタル契約 ¥6,000(税抜)/月額

お求めは静岡県特約販売店10社へ
総発売元 西川鋼販株式会社
詳しくは当社ホームページでご確認ください。

株式会社 小池弥太郎商店
本社・本社工場/〒420-0922 静岡市葵区流通センター16番
TEL(054)263-2280代 FAX(054)263-6163
藤枝支店/〒426-0041 藤枝市藤柳2149-1
TEL(054)636-4040代 FAX(054)636-2911
牧之原工場/〒421-0412 牧之原市坂部110-7
TEL(0548)25-3975代 FAX(0548)25-3977
東京事務所/〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町28
エグゼル神田 5B
TEL(03)5297-4840 FAX(03)5297-4845
E-mail: info@koike-s.jp http://www.koike-s.jp

金属定尺横貫屋根 **接続ソケット S&Sルーフ** Simple and Safety
自由な施工性
「葺き方向」&「重ね代」を自由に
決められるため、廃材の削減に
つながります!

株式会社 セキノ興産
浜松店 ☎(053)440-3940
富士店 ☎(0545)37-0715